

佐渡旅行のご報告

今年はずりカメラの防水ケースを購入して水中写真に挑戦しました。
佐渡島の海中の様子や尖閣湾の釣りの紹介をしたいと思います。

1. 佐渡の海



身体が波に打たれて安定しないので、シャッターチャンスも一苦労



岩場はどこも同じような感じですが、急激に深くなっているところが多く、高所恐怖症の方はご注意ください。

集落近くの岩場ですが、アワビ、サザエがこんなにいっぱい。
地元の皆さんはルールをしっかり守っていて、潜って採るような不心得者はいないようです。
たまに袋いっぱい採っている人を見かけますがそれは密漁です。絶対に止めましょう。



このアワビは大きかったですよ。でも採っちゃいけないよ。



こちらのアワビ、皆さんわかりますか
もっとも私は息子に教えてもらってなんとか・・・
これも大きいですよ

<我が家の磯遊び>

長男(大学2年)は小学校4年から潜っていますので今ではこんな感じです。
ちなみに次男(中学1年)は今回ようやく潜れるようになりました。
佐渡の海を堪能するにはこれが一番



メバルは人間が近づいてもすぐには逃げないため写真が撮りやすいですが、クロダイはすぐ消えてしまいます。
クロダイは尖閣湾を除いて地上の人間にも敏感に反応し、10m以上離れていてもスーと隠れてしまいます。
水中から人の姿がよく認識できるようで、これじゃ見えるチヌは釣れない訳です。



美味しそうなメバル 目がかわいいですね



鮮やかなウミウシ。ちょっとお友達にはなれそうもありません

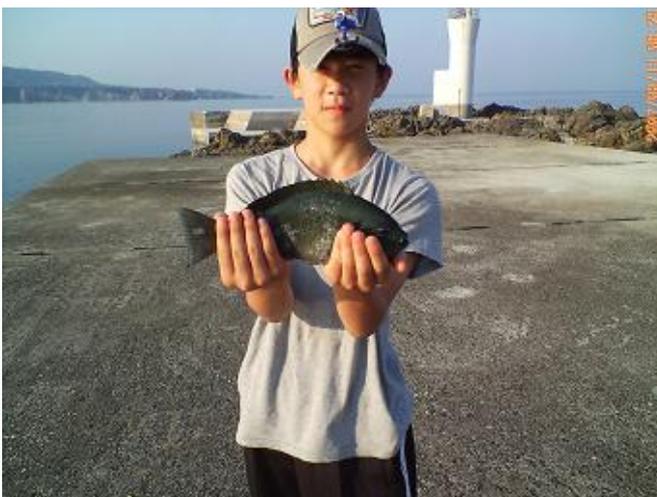
2. 尖閣湾の姫津大橋

この橋を渡ると超一級の釣り場が続いています。ただし有料(200円)
今年の釣りはこの橋を渡って内側をダンゴで攻めましたが、釣れるのはグレばかり。
グレでしたらコマセのなかに仕掛けを落としてやれば入れ食い状態になります。



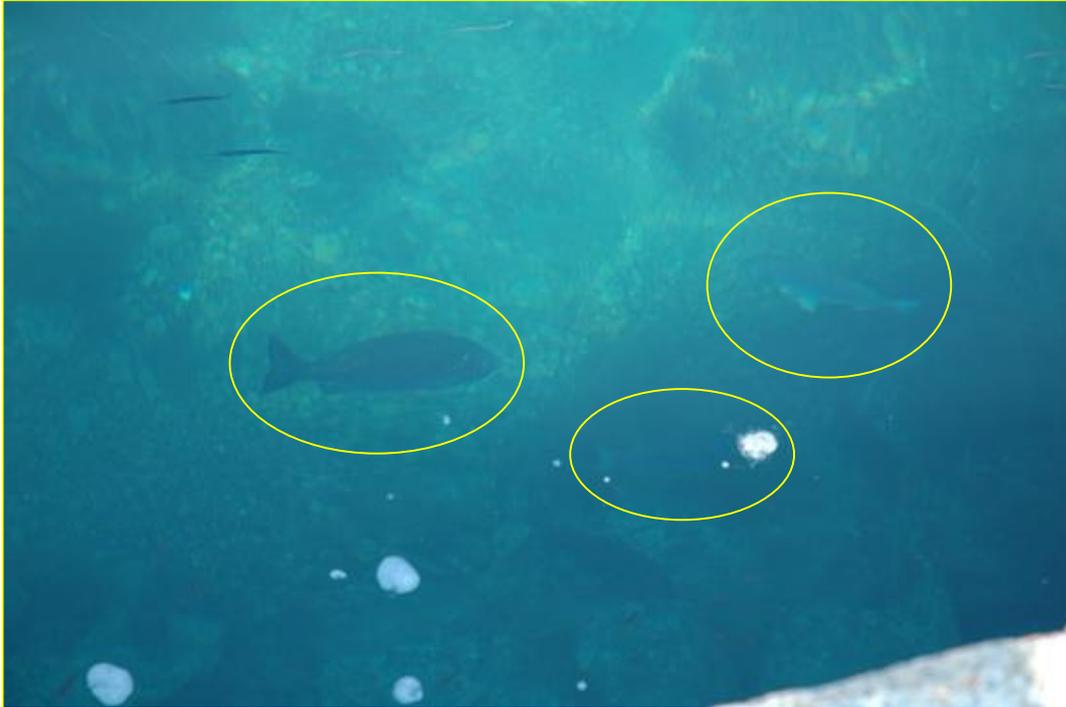
姫津大橋

この車の後ろから右側にかけてクロダイが群れていました。



次男は手が大きいので小さい魚が余計小さくみえますが、このサイズでしたらいやになるくらい釣れます。
釣った魚はすべてリリースしました。

帰路、残った釣り餌を姫津港に捨てに行くのと、足元(前ページの写真)でクロダイが群れていました。近くでイカワタを撒いている釣り人がおり、それに集まったようです。普通の釣り人だったらここで竿を出すのは当然。もはや平常心でいられなくなり、なりふり構わずタモで浮いているイカワタをすくい上げ、それを餌に釣りを始めました。見えるチヌは釣れないと言うので、針を完璧に隠しやや遠めに投げました。待っている間、捨てるつものアミエビを撒きましたが、チヌはほとんど反応なし。どうもこのチヌは佐渡の観光協会とお友達関係にありそうに思えてならない。その後1時間ほど粘りましたが群れもいなくなり、結局釣れずに終わりました。イカワタを撒いていた釣り人は50cm近い大物を1枚上げました。尖閣湾周辺はイカ工場から出るイカワタを海に捨てている(これって不法投棄じゃない?)のでこれで良く釣れるそうです。



群れは20匹程度でした
コマセを撒いても全然浮いてこないし食べもしない
池の鯉とは違うみたい

3. 釣り人、観光客のための耳寄りな情報

佐渡はアミエビのブロックが1つ400円しました。去年、今年は伊藤さんで購入したので現在の価格は分からないですが、アミエビに限らず生ものは置いてないお店もあるので、餌、仕掛けは伊藤さんのところで買って行ったほうが間違いない。チヌ釣りはオキアミのフカセが主流のようです。ただし魚影が濃いからユムシやホタルイカのブッコミもいいような気がします。姫津大橋を渡っての釣りは2日間(早朝)行いましたが、こんなにすばらし釣り場でありながら他に釣り人がいませんでした。ポイントは尖閣湾寄りの内側で十分とのことですが、橋を渡らず駐車場からもチヌを狙えます。クーラーの氷は姫津港の漁業組合で分けてもらえます。200円でクーラーに入りきらないくらいいっぱいになります。サザエ、アワビは小木の佐渡汽船近くのスーパー(たんぼぼ)で安く売っています。

以上ですが次回はもっと有益な釣り情報を配信したいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。